

| H306 | | アパレル流行論 | |
|--|---|----------|---------|
| 英名科目名 | Theory of Apparel Fashion | | |
| 大学名 | 京都文教大学 | | |
| 連絡先 | 教務課 TEL 0774-25-2426 FAX 0774-25-2498 | | |
| 担当教員 | 河本直樹（総合社会学部総合社会学科） | | |
| 開講期間 | 2021年09月20日(月)～2022年01月18日(火) 4講時 14時40分～16時10分（毎週月曜日） 開講 2021/09/20(月・祝) | | |
| 開講形態 | 後期・秋学期 | 開講曜日・講時 | 月曜日 4講時 |
| 単位数 | 2 | 履修年次 | 2年次以上 |
| 会場 | | | |
| 授業定員 | 200 | | |
| 単位互換生定員 | 30 | 京カレッジ生定員 | 10 |
| 試験・評価方法 | 平常点100%（ほぼ毎回実施する小テストまたは小課題による） | | |
| 超過時の選考方法 | 書類選考 | | |
| 受講料 | 科50,000（登10,000 履40,000） | | |
| 別途負担費用 | | | |
| その他特記事項 | 教室については、決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせください。 | | |
| パッケージ科目 | | | |
| 低回生受講推奨科目 | | | |
| 講義概要・到達目標 | | | |
| 講義概要 アパレル製品のもつ諸特性の中でも特に基本となる繊維素材と色彩について詳しく解説するとともに、アパレルや色彩に関する心理的効果や流行現象等についても言及する。 | | | |
| 到達目標 色彩の理論のうち、アパレルに関連の深い主な事項について理解し、それらを自分の言葉で説明できるとともに、実際の衣生活に活用することができる。 アパレル材料として用いられる主な繊維・糸・布の基本的な特性を理解し、それらを自分の言葉で説明できるとともに、実際の衣生活に活用することができる。 着行動と心理との関わり、流行現象などについて理解し、それらを自分の言葉で説明できるとともに、実際の衣生活に活用することができる。 | | | |
| 講義スケジュール | | | |
| 第01回 アパレルの色彩(1)色の表し方 第02回 アパレルの色彩(2)色の見え方・感じ方 第03回 アパレルの色彩(3)配色と色彩調和 第04回 アパレルの色彩(4)色の好き嫌い 第05回 アパレルの色彩(5)似合う色 第06回 アパレルの素材(1)繊維とは何か 第07回 アパレルの素材(2)天然繊維 第08回 アパレルの素材(3)化学繊維 第09回 アパレルの素材(4)繊維から糸へ、糸から布へ 第10回 アパレルの素材(5)布：織物と編物 第11回 アパレルの心理と流行(1)欲求・感覚と着装動機、他 第12回 アパレルの心理と流行(2)着装と感情・自己概念、他 第13回 アパレルの心理と流行(3)着装と印象形成、他 第14回 アパレルの心理と流行(4)消費行動と流行現象、他 第15回 アパレルの心理と流行(5)衣服と色彩の流行、他 | | | |
| 教科書 | 使用しない | | |
| 参考書 | 『わかりやすいアパレル素材の知識』一見輝彦（ファッション教育社）、『色彩のデザイン（色彩科学選書2）』松田豊（朝倉書店）、『カラーコーディネーターのための配色入門』川崎秀昭（日本色研事業）、『カラーコーディネーターのための色彩心理入門』近江源太郎（日本色研事業）、『装いの心理と行動』小林茂雄、藤田雅夫（アイケイコーポレーション） | | |